



9月が始まりますがまだ残暑が続いていますね。9月に入ってから、暑い間は水遊びを継続していきますので、引き続き水遊びの着替えセットの用意をお願い致します。



<自分のことは自分でやってみよう>

水遊びでは、遊ぶ時間だけでなく、準備や片付けも大切な経験です。「これからプール遊びをするけれど、どんな用意が必要かな？」など、子どもたちが自分で考えられるような声かけを大切にしています。保育者の話を目で見、耳で聞き、次にすることを考えて行動する経験を重ねることで、少しずつ見通しを持って動けるようになってきました。Tシャツを脱ぐ、タオルやおむつの入った袋を持つ、洗濯ばさみで挟んだ服をカゴへ入れるなど、毎日の流れを覚え、「次は何をするのかな」と考えながら、自分で行動する姿も増えています。

また、「自分のことは自分でやりたい」という気持ちが芽生える時期です。一人ひとりの「やってみたい」という思いを大切に、ズボンを脱いだり、身体を拭いたり、おむつを履いたりするときも、できるところまでは自分でやってみよう見守っています。「できないときは『手伝って』って教えてね」と伝え、自分の言葉で助けを求められることも大切にしています。「全部やって」と保育者に頼むこともあります。そんなときには、「まずここまでやってみようか」と声をかけています。最初から全部を自分でやろうとすると難しく感じても、小さく区切って取り組むことで、「やってみよう」と思えることがあります。このように、できることから少しずつ取り組むことを「スモールステップ」といいます。

実際にやってみると、「あれ？ここまでできた！」と、自分でできることに気づく姿もあります。それでも難しい場合には、手を添えながらコツを伝え、最後は子ども自身の手でやってみることを大切にしています。すぐに手伝うのではなく、まず自分で考え試してみる。その経験が「できた！」という自信につながっています。



<約束を守る大切さ>

水遊びを安全に楽しく行うための約束も毎日繰り返し伝えてきました。「走らない」「友だちを押さない」「水の中へ勝手に入ったり出たりしない」など、いくつか約束があります。水遊びを始めた頃は、約束を何度も伝えた上で、「走るのは？」「お友だちを押すのは？」と尋ねると、「いけない」「だめだよ」と言葉で答えたり、バツのポーズをしたりする姿が見られました。水遊びに慣れてきた今では、「水遊びの約束はなんだっけ？」と聞くと、「走らない」「押さない」など、自分の言葉で伝える子どもたちも増えてきました。毎日の積み重ねの中で、約束を守る大切さを感じ、安全に遊ぶために自分で意識する力が育っています。子どもたちは楽しい水遊びをするために約束が大切なこと、として守ることができていました。

水遊びという楽しい経験を通して、見通しを持って行動する力、身の回りのことを自分でしようとする力、困ったときに自分の言葉で助けを求める力、約束を守る力など、たくさんの育ちが見られています。

これからも、すぐに答えを伝えたり、手伝ったりするのではなく、一人ひとりの「やってみたい」「自分でできた」という気持ちを受け止めながら、子どもたち自身が考えて行動できるような声かけや見守りを大切にしていきます。自信を持ってさまざまなことに挑戦できるよう関わっていきたいと思います。

水遊び

水遊び

プール遊び

プール遊び

泡遊び

泡遊び

泡遊び

リズム遊び

リズム遊び

色水ゼリー遊び

スイカの水やり

スイカの観察

スイカの観察

スイカのカット

買い物ごっこ

お知らせ

9月12日（土）に保護者会を開催します。皆様のご参加をお待ちしております。

